

(様式 1-3)

高萩市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成30年3月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	6	事業名	津波避難東西連結道路整備事業(高萩陸橋)	事業番号	D-3-1
交付団体	市	事業実施主体(直接/間接)	高萩市(直接)		
総交付対象事業費	299,282(千円)	全体事業費	261,316(千円)		
事業概要					
<p>JRにより市街地が東西に分断されている本市の中で、海拔4m未満の東地区には全市民の1/4弱(約7,000名)が居住しているが、避難ビルとしての学校等に避難できる住民の数が限られており、また、高齢者など高層階への避難が困難な住民の避難路を確保する必要があることから、東地区北側地域の住民1,000人を沿岸部から高台へ避難させるための高架橋を整備する。</p> <p>【高萩市震災復興計画に位置付けあり】(H24.12月完成)</p> <p>「災害の際、基幹的な役割を担う学校等の防災拠点や避難所を強化するとともに、避難経路を確保するなどインフラの整備を図ります。」</p> <p>【事業間流用による経費の変更】(平成29年10月11日)</p> <p>残事業費を既配分予算の流用により充当することで、効率的な予算執行を図るため、D-1-1 津波避難東西連結道路整備事業(浜野町踏切)へ20,968千円(国費:H24 予算16,250千円)を流用。これにより、全体事業費は、299,282千円(国費:231,942千円)から278,314千円(国費:215,692千円)に減額。</p> <p>【事業間流用による経費の変更】(平成30年1月17日)</p> <p>残事業費を既配分予算の流用により充当することで、効率的な予算執行を図るため、D-5-1 災害公営住宅家賃低廉化事業へ15,012千円(国費:H26 予算11,634千円)をD-6-1 東日本大震災特別家賃低減事業へ1,986千円(国費:H26 予算1,539千円)をそれぞれ流用。これにより、全体事業費は、278,314千円(国費:215,692千円)から261,316千円(国費:202,519千円)に減額。</p>					
当面の事業概要					
<p>高萩陸橋の高規格化:既存施設の上部工、下部工(橋台、橋脚等)の耐震補強</p> <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none">・設計 37,500千円 <p><平成25~27年度></p> <ul style="list-style-type: none">・工事 373,975千円(H25:149,590千円、H26:112,192千円)					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災において、本市では震度6強が記録されるとともに、東小学校の脇を流れる関根川で津波が遡上し、小学校周辺まで浸水するなどの被害に見舞われた。</p> <p>市内道路についても、市道43件の被害を受けたが、特にJR路線を跨ぎ市街地の東西を結ぶ路線(高架橋2本、線路横断1本)のうち、基幹的な2つの高架橋(内1本は県道)が通行不可となった。</p> <p>JRにより市街地が東西に分断され、東側に高台のない本市において、沿岸部の北側地域と高台を連絡する道路整備(高萩陸橋の高規格化)を行うことで、津波からの避難経路を確保する。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					